

市立福知山市民病院広報誌

発行：市立福知山市民病院

〒620-8505 京都府福知山市厚中町 231

TEL 0773-22-2101 FAX 0773-22-6181

URL <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

第30号

R5.1. 発行

日本医療機能評価機構認定病院・地域がん診療連携拠点病院・地域救命救急センター・地域災害医療センター・地域医療支援病院

「命と健康を守り、信頼される病院」



◇院長あいさつ

病院長
阪上 順一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は元旦から年末に至るまで、新型コロナウイルス・オミクロン株に翻弄された1年であり、新年を迎えてもその流行が収まつたとは言い難い状況です。

国外ではロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、東アジアにおいてもきな臭い報道が目立ちます。

そのような中、本院は昨年1月27日に地域医療支援病院の知事承認を受け、新しい時代へ向けて着実にその歩を進めております。2023年を迎えましても、ロボット支援手術をはじめとする安心で質の高い医療を、市民の皆様に継続的に提供して参ります。2023年度末までには病院機能評価受審、電子カルテシステムとハードウェアの更新、放射線部門の強化といったインフラ整備を併せて行って参ります。

医療を取り巻く状況は決して平坦ではありませんが、職員一同、輝ける未来を目指して地域医療を支えて参ります。本年も皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

目次

| | | | |
|------------------------|---|-------------------|---|
| 外科について | 2 | 診療部栄養科の紹介 / 栄養レシピ | 6 |
| 直腸癌に対しロボット支援手術を開始しました! | 3 | 採用医師紹介 / くすりのはなし | 7 |
| 緩和ケアチームの紹介 | 4 | 外来週間診療予定表 | 8 |
| 院内トリアージについて | 5 | | |

基本方針

- 福知山地域における基幹的総合病院を目指します。
- 救急医療体制を充実し、いつでも安心して受けられる医療を提供します。
- がん治療など高度な医療を推進します。
- 地域の医療・保健・福祉機関と連携を深め、地域医療の向上を目指します。
- 時代の変化に対応し、患者さま本位の医療を実践します。
- 快適な環境の創造と経営安定に努めます。

患者さまの権利と義務

- 個人の人格が尊重され、安全で良質な医療を受けることができます。
- 自分の受ける医療について、十分な説明を受けた上で、自分の意思で医療の選択をすることができます。
- 自分の受ける医療について、わからない点は医療スタッフに質問することができます、診療情報の提供やカルテの開示を求めるることができます。
- 診察時のプライバシーや診療についての個人情報は厳密に保護されます。
- 自分の受ける医療について、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
- 自分の症状についての情報は、医療スタッフに正しく伝える責任があります。
- 病院の規則を守っていただくとともに、他の患者さまの診療、療養に支障を与えないようする義務があります。

外科について

外科 医長 當麻敦史



外科では、消化器外科医5名、乳腺外科医1名(4月より2名に増員予定)、呼吸器外科医1名(4月より2名に増員予定)がチームとなり、悪性腫瘍(がん)をはじめとした様々な疾患にたいし、手術を主体とした診療を行っています。地域の皆様の信頼を得られるような安心・安全な医療を提供できるよう努めつつ、最新の知見・手技を取り入れるよう常に心がけています。

胃癌、大腸癌、肝癌、胆道癌、脾癌、乳癌、肺癌等のがん治療に関しては、消化器内科、放射線科、腫瘍内科、呼吸器内科等とカンファレンスを行い、患者様の病状に応じて、手術前や手術後に化学療法や放射線治療を組み合わせ、最善・最適な治療を行っています。

当科では、胃癌手術の約80%、大腸癌・直腸癌手術の約90%を腹腔鏡手術で行っており、2022年6月からは直腸癌にたいし、ロボット支援下手術を導入し、より精緻な手術が可能になりました(詳しくは次ページに)。

従来の開腹手術では大きな傷が必要であった肝切除術も小さな傷で低侵襲な腹腔鏡手術の適応を増やしています。

また、外傷や急性腹症等の救急疾患にたいして、休日、夜間を問わず、迅速な治療が行えるように対応しています。虫垂炎や胆石・胆囊炎などの急性疾患にたいしては、病状に応じて、緊急手術を行うか、点滴等による保存的治療にて経過をみるか決定しています。

手術症例数の多い、そけいヘルニア(脱腸)修復術、胆囊摘出術、虫垂切除術のほとんどは腹腔鏡手術で行っています。内痔核(いぼ痔)にたいしては、患者様と相談した上で、手術(痔核切除術)、硬化療法(ジオン療法)、軟膏・座薬等による保存的治療を選択しています。

手術は日々進歩し、より低侵襲で安全な治療法になっています。高齢であつたり、持病があつてリスクが高くても安全に手術できるケースも増えています。手術に関連した疾患に幅広く対応いたしますので、ご相談、ご紹介よろしくお願ひいたします。



乳腺外科 医長
三橋愛

乳腺疾患として、良性腫瘍(乳管内乳頭腫、線維腺腫、葉状腫瘍などを含めた腫瘍性疾患)や、非腫瘍性疾患(乳腺炎、乳輪下膿瘍など)があります。乳腺外科では乳腺疾患を全般に取り扱いますが、主には乳癌の診断と治療を行っています。

乳癌は日本人女性が最もかかりやすい「がん」で、9人に1人が罹患するともいわれています。乳癌と診断されても早期に発見し適切な治療が行われれば完治が見込め、他のがんと比べて治療成績は良好です。

乳腺のことなどで気になることがあれば、どうぞ乳腺外科にご相談ください。



呼吸器外科 医長
池部智之

2022年の4月より赴任しました。食道と心臓以外の胸部手術を担当します。最も多い肺癌は増加の一途をたどり、そのうち75%が手術で治る可能性の高いⅠ期です。2022年4月から12月まで合計102例の全身麻酔手術を施行しました。肺癌は38例、縦隔悪性腫瘍は6例、臨時手術は38例(外傷や気胸、膿胸が主)とタイムリーかつ幅広く行っております。国内標準レベル、志はそれ以上の治療を当たり前に受けていただきたいと思っております。患者さんの相談は断りません。

京都府北部で初!!

直腸癌に対しロボット支援手術を開始しました!



外科 医師 松村篤

2022年6月より直腸癌に対し da Vinci Surgical System を用いたロボット支援手術を開始しました。外科領域では2018年の保険収載以降、爆発的に増えているロボット支援手術とは、医師がロボットを操作して行う腹腔鏡手術のことです。医師は、サージョンコンソールというコントローラーを備えた装置で手術を行います。



●従来の腹腔鏡手術と比べてロボット支援手術のメリットは?

術者は自由に拡大出来る3D映像を見ながら、広い可動域と手ぶれのないロボット鉗子を用いることで、より精度の高い手術を行うことが可能になりました。特に、骨盤内の狭い術野での操作を要する直腸癌手術でロボットは大きな威力を発揮します。ロボットの正確で緻密な手術を生かし、患部の完全切除率・臓器温存率の上昇や合併症発生率の低下など治療成績の向上が期待されます。

●ロボット支援手術のデメリットは?

サージョンコンソールのコントローラーから術者へロボット鉗子の触覚が伝わって来ません。よって、術者は視覚の情報で触覚を補わなければなりません。しかし、定められたトレーニングを受けてロボット執刀医として認定を受けた医師が、ロボットの高精細な3D映像を見て手術をすれば、克服出来ることが分かっています。

まとめ

本日ご紹介した da Vinci Surgical System のようなロボットは非常に高額であるため、導入している施設はまだ限られているのが現状です。しかし、ロボット支援手術が外科領域で主流になって行くことは間違いないありません。

今後、結腸癌・胃癌手術へ適応拡大する予定です。より高度で質の高い医療を、安全第一で地域の皆様へ提供出来るよう努力して参ります。

緩和ケアチームの紹介

緩和ケアとは、がんの診断時からあらゆる時期において、患者さんの“体のつらさ”や“心のつらさ”を和らげ、患者さんやご家族にとって可能な限り良好な生活の質（Quality of life）を実現・維持することを目指しています。またその役割は、体や心の苦痛緩和にとどまらず、生命予後の延長につながるといわれています。

WHO(世界保健機関)の緩和ケアの考え方



当院では、がんを専門とする医師、看護師、薬剤師、公認心理師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が緩和ケアチームとして活動しており、外来、入院いずれの患者さんやご家族にも対応しています。



つらい症状や不安、悩み、困ったことなど、どのような内容でもご相談に応じます。



院内トリアージについて

当院の救急外来は救える命を救うため、最善の医療を提供することを信念にしています。



救急中央治療室 副看護師長
救急看護認定看護師 田中嘉与

救急外来受診患者数は2020年度約9700名、2021年度約11000名と年々増えています。多くの患者さんが受診される中、命に関わる危険な症状を素早く見つけ、適切に対応するために、院内トリアージを実施しております。トリアージを導入して今年で10年が経過しました。救急看護のスペシャリストが実施し、緊急性度の高い患者さんを素早く見抜くために、もれのない問診と観察から、正確な緊急性度の判断を行っています。

また、結果を定期的にフィードバックし、判断能力と適切な実践力の維持、向上に努めています。

《トリアージの流れ》

①第一印象 (見た目)

3~5秒で緊急性度を評価し、異常があれば即診察を要請

②問診・測定

感染管理をしながら
症状について問診と体温や
脈拍・血圧などを測定

③緊急性度の 判断

①②で得た情報から判断し、
診察時間の調整や
処置・検査の準備



顔色、姿勢、表情、呼吸の状態など、
見た目の異常がないか観察します。

異常と判断すれば、直ちに医師へ報告し、最優先で対応しながら、救命処置に備えます。



来院までの経過と、緊急性の高い
症状がないか、再度評価しながら問
診や、バイタルサイン測定をさせて
いただきます。

症状によっては、診察前に検査や
採血・点滴をすることもあります。



患者さんの情報から、緊急性度の判
断を行い、診察時間の調整を行いま
す。評価によっては直ちに診察を開始
することもあります。

また、診察までに時間があるとき
は緊急性度の再評価を行います。

診察の順番が変わることや、
待ち時間が長くなることもあります。

みなさまのご理解とご協力をよろしく
お願ひいたします。



【診療部栄養科の紹介】

診療部栄養科
副栄養科長

林田郁代

診療部栄養科は、病院管理栄養士と委託業者で栄養管理に関する業務を行っています。
業務内容は **A:入院中の患者様への食事提供業務** と **B:栄養指導などの臨床栄養業務** に分かれています。
以下にそれぞれの取り組みをご紹介します。

A: 食事提供業務

- 入院患者様に対し医師の食事箋に基づき適切な食事提供を行っています。
- 配膳方法：温冷配膳車により、衛生管理と適温を心掛けています。
- 選択メニュー：常食・分娩食・貧血食・化学療法食を召し上がっている制限のない患者様を対象に木、金、土曜日の朝食を和食・洋食から選んでいただいている。
- 地産地消：食の安心・安全・おいしさの追求などの点から地元福知山産や京都府産の食材の利用促進に取り組んでいます。
- 産科祝い膳：出産後2日目の夕食にご利用しています。

【病院職員栄養科メンバー】



B: 臨床栄養業務

- 栄養状態の評価が必要な患者様に栄養管理計画書を作成しています。
- 栄養指導：当院受診の入院・外来患者様に対し、医師の指示に基づき食事療養の必要性の理解、実践の支援などを行っています。
時間：平日 8時30分～17時00分
- チーム医療：医師、看護師、コメディカル、事務職などで栄養支援を行っています。



栄養レシピ

管理栄養士 土田 侑奈

◎かしこく健康にお餅を消費しよう！

今回は、正月明けに余りがちな「お餅」を上手に食べるためにレシピをご紹介します。健康に1年をスタートさせましょう。

お餅で簡単！ もちもちタコおこわ



◆栄養価(1人分)…

エネルギー 270kcal／たんぱく質 10.9g
炭水化物 50.8g／塩分 0.9g

【材料】(3人前)

- お米………1合(150g)
- 角餅………1個(50g)
- ごぼう………1/4～1/2本(45g)
- 大葉………適量
- 茹でタコ………90g
- 出汁パック…1袋
- A 料理酒………大さじ1/2(15g)
濃口醤油………大さじ1/2(9g)
みりん………大さじ1/2(9g)
おろし生姜………好みで
きざみ柚子………好みで

【作り方】

- ①洗米したお米の水気を軽く切って釜に入れ、Aの調味料を全て加える。
- ②1合の目盛まで水を加えて軽く混ぜた後、出汁パックの中身を開いて加え、20分浸漬する。
- ③餅を1cm角に、茹でタコを1cm程のぶつ切り、ごぼうはざがき切りにする。
- ④お米の上に餅、ごぼう、タコの順に乗せて、通常通りの時間で炊飯する。
- ⑤炊きあがったら、餅が均等に行き渡るようにしゃもじで手早く混ぜる。
- ⑥器に盛り付け、刻んだ大葉を添えたら完成。



◆お餅の栄養って…

ご飯 1杯(150g)=角餅(50g)×2個
=丸餅(30g)×3個

気にせずおやつにバクバク食べていると、正月太りの原因に…！
健康にお餅を消費するコツは、おやつではなく主食の代わりにお餅を楽しむことです。

◆調理のポイント

ポイントはお餅の切り方！
しっかりと小さく切ったほうが焼きあがりの混ぜ込みで上手に混ざりやすいです。小さく切って、まんべんなく散らして焼きあげましょう。
出汁パックの中身を加えることで出汁の香りが立ち、少ない調味料で美味しい楽しむことができます。
香りの立つ食材を好みで加えてアレンジしてみてください。



採用医師紹介



| 科 | 写 真 | 氏名・ひとことプロフィール | 科 | 写 真 | 氏名・ひとことプロフィール |
|-------|-----|--|-------|-----|---|
| 呼吸器内科 | | なかの たかゆき 中野 貴之 高齢化に伴い呼吸器診療のニーズは日々高まっています。肺癌疑いから咳の患者様まで迅速に対応致します。 | 脳神経外科 | | かわじり たかはる 川尻 隆治 京都府北部の脳神経診療に貢献できるように、日々全力で取り組みますのでよろしくお願いします。 |

スタッフ募集

市民病院で働きませんか？

医療
スタッフ

詳しくはホームページまたは市立福知山市民病院総務課まで
<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>
TEL:0773-22-2101(代)

ボラティア
スタッフ

詳しくは市立福知山市民病院医事課まで
TEL:0773-22-2101(代)



くすりのはなし

病院薬剤師の仕事



病院薬剤師ってどこでどんなことしているの？
今回は病院薬剤師の仕事についてご紹介します。

●飲み薬、注射薬の調剤

用法・用量は適正か、薬の飲み合わせは問題ないか確認し、調剤を行います。



●服薬指導

患者さんのベッドサイドで、お薬の説明・副作用の確認を行います。

●病棟カンファレンス

入院患者さんの治療上の問題点、退院後の生活について多職種と話し合います。

●病棟薬剤師業務

病棟ごとに専任薬剤師が配置され、入院患者さんの持参薬の確認、医療スタッフからのお薬の相談に応じています。

●医薬品情報の管理

お薬の効果や副作用情報を集め、薬の知識や最新情報を医療スタッフに提供しています。

●注射剤の調製

抗がん剤や高カロリー輸液の調製を行っています。

●専門性の取得

薬剤師の専門性を高めるため学会・研修会に参加し、知識の幅を広げています。

お薬のことなら何でもご相談ください！



市立福知山市民病院外来週間診療予定表

令和5年1月1日現在

| 診療科 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|-------------|-----------------|---------------|-------------|-----------|------------|-------------|--|
| 内 科 | 1 診 初 診 | 阪 上 | 川 島 | 早 田 | 西 山 | 川 島 | 火曜日午後 禁煙外来 |
| | 2 診 再 診 | 和 田 | 稻 葉 | 川 島 | 香 川 | 小 田 | |
| | 3 診 腎臓 | 午 前 | | | 金森(腎臓) | 大久保(腎臓) | |
| | 4 診 血 液 | 金森(腎臓) | 金森(腎臓) | | | | |
| | 5 診 呼 吸 器 | 早 田・西 岡 | 平 川 | 西 山 | 早 田 | 平 川 | 月曜日1・3週/早田 2・4週/西岡 |
| | 6 診 消 化 器 | 酒 井 | 辻 | 小 原 | 岡 | 窪 田 | |
| | 7 診 循 環 器 / 再 診 | 村 上(循環器) | 山 崎(循環器) | 志 熊(循環器) | 中 尾(再診) | 上 林(全循環器) | 偶数月第3または第4金曜日午後 心臓弁膜症外来(全医師) |
| | 8 診 循 環 器 | 阪 本 | 阪 本 | | 阪 本 | 阪 本(午前) | 月曜日午後ペースメーカー外来 |
| | 9 診 初 診 | 服 部 智 | 服 部 雄 | 中 尾 | 松 山 | 岡 部 | |
| | 10 診 午 前 | 服 部 雄(血液) | 小 牧(再診) | 中野(呼吸器) | 担当医 | 中野(呼吸器) | |
| | 11 診 午 後 | 服 部 智・三橋(糖尿病) | 原田(再診) | | 服 部 智(糖尿病) | | |
| | 12 診 糖 尿 病 | 三 橋 | 烟 | 服 部 智 | 三 橋 | 小 林 | |
| | 13 診 腫瘍 | 原 田(緩和ケア) | 原 田(肝臓) | 二 村(再診) | 原 田(再診) | 原 田・担当医(紹介) | |
| | 14 診 午 前 | 藤 井(膠原病) | | 中 西(膠原病) | 竹 内(IVR診) | 井 上 拓(膠原病) | 木曜日午後は放射線科竹内医師IVR説明 |
| | 外 来 | 渡 邊 | 渡 邊 | 渡 邊 | 渡 邊 | | |
| 脳 神 経 内 科 | ものわすれ外来 | | | | 渡 邊 | 完全予約制 | |
| | 1 診 | 鍾 | 鍾 | 鍾 | 鍾 | | |
| 精 神 経 科 | 2 診 | | 松 岡 | | | | |
| | 思春期外来 | | | 石 澤 | | 思春期外来(隔週) | |
| 小 児 科 | 1 診 午 前 | 諸 戸 | 加 賀 山 | 石 丸 | 諸 戸 | 新 田 | |
| | 午 後 | 石 丸(1か月健診) | 森 元(内分泌・代謝) | 新 田(予防接種) | 石 丸(1か月健診) | 加 賀 山(慢性疾患) | 内分泌・代謝外来 隔週 |
| | 2 診 午 前 | 担 当 医 | 担 当 医 | 担 当 医 | 乘 原(発達) | 西 村(子ども頑痛) | 発達外来 午前については隔週 |
| | 午 後 | 新 田(慢性疾患) | 諸 戸(神経) | 石 丸(予防接種) | | | |
| | 0 診 | 土 屋(アレルギー) | | | | | 第4月曜日 |
| | 心 工 一 室 | | 河 井(循環器) | | | | |
| 外 科 | 1 診 | 小 川 | 當 麻 | 有 吉 | 松 尾 | 松 村 | |
| | 2 診 乳 腺 | | 三 橋 | | 木 村(午後) | 三 橋 | |
| 整 形 外 科 | 1 診 | 勝 山 | 佐 々 木 | 佐 々 木 | 勝 山 | 擔 当 医 | 金曜日1・4週/勝山 2・5週/佐々木 3週/金村 |
| | 2 診 | 奥 田(手の外科) | 奥 田(手の外科) | 中 村 | 中 村 | 中 村 | |
| | 3 診 | 金 村 | 齋 藤 | 金 村 | 金 村 | 齋 藤 | |
| 脳 神 経 外 科 | 外 来 | 太 田 | 大 和 田 | 擔 当 医 | 大 和 田 | 谷 川 | 午前・午後 |
| | | | | 川尻(外来) | | | 午前のみ(Fブロック14診) |
| 形 成 外 科 | 外 来 | 鈴 木 | | 鈴 木 | | 鈴 木 | |
| 心 臓 血 管 外 科 | 外 来 | 神 田 | | | | 神 田 / 川尻 | 第1または第2月曜日・第3金曜日/神田医師 第1金曜日大動脈血管内治療外来/川尻医師(Fブロック) |
| 小 児 外 科 | 外 来 | | 深 田 | | 深 田 | | |
| 皮 膚 科 | 1 診 | 大 下 | 大 下 | 大 下 | 大 下 | 大 下 | 第2・4金曜日休診 |
| | 2 診 | 大 西 | 大 西 | 大 西 | 大 西 | 大 西 | 第1・3・5金曜日休診 |
| 泌 尿 器 科 | 1 診 | 加 藤 | 藤 原/担当医 | 鈴 木 | 加 藤 | 細 井 | 第2・4火曜日午前 女性泌尿器外来(藤原医師) |
| | 2 診 | 鈴 木 | 細 井 | 加 藤 | 鈴 木 | 擔 当 医 | |
| 産 婦 人 科 | 1 診 | 宇 田 | 宇 田 | 奥 田 | 谷 | 高 塚 | |
| | 2 診 | 奥 田 | 谷 | 宇 田 | 奥 田 | 谷 | |
| | 3 診 | 担 当 医 | 担 当 医 | 担 当 医 | 担 当 医 | 担 当 医 | |
| | 1か月健診 | 谷 | | 宇 田 | | | 予約17時~18時半 予約外17時~18時 |
| 眼 科 | 1 診 夜 間 診 療 | | 担当医 | 担当医 | 担当医 | | 月曜日:ロービジョンケア外来午後予約制 水曜日1・3週:コンタクト外来(10~11時) 木曜日2・4週:コンタクト外来(10~11時) 木曜日1診:第2・4週のみ |
| | 2 診 処 置 | 大 内 | 塚 本 | 大 内 | 塚 本 | 担当医 | |
| | 3 診 | 山 本 | 山 本 | 大 内 | 塚 本 | 山 本 | |
| 耳 鼻 いんこう科 | 1 診 | 石 坂 | 張 | 石 坂 | 擔 当 医 | 石 坂 | |
| | 2 診 | 乾 | 乾 | 張 | | 乾 | |
| 放 射 線 科 | 初 診 | 坪 倉・西 村 | | 坪 倉・西 村 | | 坪 倉(午前)・西 村 | 第2金曜日 坪倉医師午後診あり |
| | 再 診 | 坪 倉・西 村 | 坪 倉 | 坪 倉・西 村 | 西 村 | 西 村 | |

【診療受付時間】初 診：午前8時30分～11時

再 来：午前7時30分～11時

(前回受診より6ヶ月以内の方)

午前8時30分～11時

(前回受診より6ヶ月経過している方)

【休 診 日】土・日曜日、祝日、年末年始

*月に1度は健康保険証を窓口にご提出ください。

*診察券はすべての診療科で共通使用します。

*紛失しないよう大切に保管してください。

*都合により休診となる場合がありますので

ご了承ください。

*全科の再診・特殊外来は予約制となります。

*年末年始(12月29日から1月3日まで)

●がん相談支援センター●

相談受付 お問い合わせ先

当センターでは、がん患者さまやそのご家族の治療や療養生活について、さまざまな不安や悩みなどのご相談に応じて一緒に考え、解決していくお手伝いをしております。

窓 口/中央受付9番窓口(地域医療連携室)

受付時間/午前8時30分～午後5時15分 ※休日：土・日・祝・年末年始

電話受付/0773-22-2101(代表)

TEL : 0773-22-2101(代表) FAX : 0773-22-6181(総務課) · 0773-22-8601(医事課)
ホームページ <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>